

国際スポーツ大会の開催や事前キャンプ 誘致に対する支援等について

九州・山口地域においては、熊本県での2019女子ハンドボール世界選手権大会をはじめ、福岡県、熊本県、大分県で開催されるラグビーワールドカップ2019（ラグビーW杯）等の国際スポーツ大会が相次いで開催される。また、平成32年には、世界最大のスポーツ・文化の祭典である東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（東京2020大会）が開催される。さらに、同年には、かごしま国体・全国障害者スポーツ大会かごしま大会が開催されるなど、スポーツへの関心がますます高まり、九州・山口各県への誘客の大きなチャンスになることが期待されている。

このような中、九州・山口各県では、東京2020大会の追加種目である「野球・ソフトボール」、「空手」、「サーフィン」競技の本大会会場の誘致を目指した取組に加え、ラグビーW杯や東京2020大会の事前キャンプの誘致等に積極的に取り組んでいるところである。

国際スポーツ大会の開催や事前キャンプの受入れは、国内外からの誘客を通じて、多くの人々に対して、九州・山口各県の豊かな自然や歴史・文化、食などを発信できるとともに、国際交流の活性化や交流人口の拡大が促進されることから、地方創生に大きな役割を果たすものと期待される。

国においては、これらの取組が地方創生をより一層推進し、九州・山口各県が平成28年熊本地震から力強く復興する姿を国内外にアピールする絶好の機会になることも踏まえ、以下の項目について適切な措置を講ずるよう強く求める。

1 追加種目の地方開催や施設整備、事前キャンプ誘致等への支援

ラグビーW杯や東京2020大会の追加種目の地方開催を含め、九州・山口地域における国際スポーツ大会の開催に向けた施設整備・改修や事前キャンプの誘致及びホストタウンに関する取組等を積極的に支援すること。

2 訪日外国人旅行者の受入れ環境整備の充実・強化

入国審査の迅速化や標識の多言語化を進めるなど、訪日外国人旅行者の受入れ環境整備を一層充実・強化すること。

平成28年11月

九州地方知事会長

大分県知事 広瀬 勝貞